

令和6年度第2回スポーツ推進審議会 議事録

事務局)本日は委員の皆様方におかれましては何かとご多用のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。これより令和6年度第2回湖南省スポーツ推進審議会を開催させていただきます。まず審議会の開会にあたり、去る11月25日にお亡くなりになりました生田邦夫前市長に哀悼の意を表し、1分間の黙祷をささげたいと存じます。皆様、恐れ入りますが、ご起立をお願いします。

黙祷。

ありがとうございます、ご着席ください。続きまして、11月7日に就任されました松浦市長からご挨拶をお願いいたします。

松浦市長)皆さんこんばんは。さて、本年度9月に第3期湖南省スポーツ推進計画を策定いたしました。コロナ禍を経てスポーツをとりまく環境は社会情勢と同様に大きく変わりましたが、市の現状を踏まえて、委員の皆様よりご意見をいただきながら、一人でも多くの市民が、健康を意識し、楽しさや喜びを感じながらスポーツに触れていただけるような計画として策定いただきました。

今回の審議会では各地で進められている部活動の地域移行についてもご議論いただきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

生田前市長が生きておられたら、国スポ障スポ近づいてきたからみんな力合わせて頑張らなアカンでと言っておられたと思います。どうぞ最後まで忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、会議の開催にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

事務局)ありがとうございます。それでは次に、会議資料の確認をさせていただきたいと思います。事前に郵送でお渡ししている資料ですが、1つ目が湖南省スポーツ推進審議会条例、2つ目が湖南省スポーツ審議会委員名簿、3つ目が第三期湖南省スポーツ推進計画、4つ目に、国スポ・障スポ先催県視察報告を事前にお配りしております。そして本日部活動地域移行についてお配りしております。以上でお手元にそろっておりますでしょうか。お持ちでない場合はお申し出ください。

それでは議事に進む前に、令和6年8月から新たに2年間の委員委嘱をお願いしておりますので、委員様と事務局の簡単な自己紹介を順番に行いたいと思います。

各委員)自己紹介

事務局) ありがとうございます。では次に会長及び副会長についてです。湖南省スポーツ推進審議会条例第4条より、審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定めるとありますが、慣例で事務局から委員長と副委員長を指名し、委員様にお認めいただいております。今期も特に意見がなければ事務局から指名させていただきますが、いかがでしょうか。

委員全員) 異議なし。

事務局) ありがとうございます。では前回に引き続きになりますが、会長、副会長を再びお願いしてよろしいでしょうか、ご意見ありますでしょうか。

委員全員) 異議なし。

事務局) ありがとうございます。では2年間どうぞよろしくお願いいたします。

それでは本日の委員さんの出席状況について、ご報告申し上げます。本日の会議は、委員8名のうち、出席者7名で定足数の過半数を満たしており、当審議会条例の規定に基づき、会議が有効に成立していることをご報告申し上げます。

それでは、当審議会の進行につきましては、会長にお願いいたします。なお、会議を始めるにあたり皆様をお願いとしましてホームページに会議録を掲載させていただきますので、発言の際はマイクの使用をお願いしたいと思います。それでは会長からご挨拶をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

会長) また2年間よろしくお願いいたします。それでは早速議事を進めさせていただきたいと思います。まず第3期スポーツ推進計画について、事務局よりご説明よろしくお願いいたします。

事務局) 資料3と計画の概要版が第3期スポーツ推進計画になります。前回から引き続いてお願いしている委員様についてはご存じの内容となりますが、新たに委員になられた方もおられますので改めてご説明いたします。

平成26年12月に「湖南省スポーツ推進計画」が策定され、令和元年12月に「第2期湖南省スポーツ計画」を策定、そして令和6年9月から湖南省第3期スポーツ推進計画を策定しました。第3期では、本市の目指すスポーツ施策の基本理念、方向性を明らかにして、その実現に向けた施策を優先的かつ計画的に進めていき、本市の目指す未来「ずっとここに暮らしたい！スポーツでつなぐ きらめき湖南」の実現につなげます。

第2期スポーツ推進計画と比較しての主な変更点としましては、10ページにありますようにSNSやYouTube等を活用したイベント告知・開催を推進して、成人の週1回以上のスポーツ実施率の目標を42.5%から60%に引き上げています。また国・県の動向を見極めながら市教育委員会ならびに地域における民間等との連携を強化し、議論を重ねたうえで学校部

活動の地域移行を進める項目を追加しています。さらに、ページ 11・15 で国スポ障スポの開催機運の高まりを利活用したスポーツ振興 PR を追加しています。

そのほかページ 23 で計画の目標について関係するところではスポーツフェスティバルの参加人数 1,000 人が目標指標になっておりまして、運動・スポーツと健康のかかわり方を増やすとして目標にしており、この9月 21 日に開催したスポーツフェスティバルでは雨の中での開催となりましたが、前年より 250 人多い 780 人の参加者に来ていただきました。令和 10 年の目標にはまだ届きませんでした、引き続きイベントの周知と内容の充実を図り、参加者を増やして計画の目標達成を目指したいと思います。

会長)ただいまの説明に関しまして、委員の皆様、ご質問があればよろしくお願いします。

委員)今回のスポーツフェスティバルですけれども、雨の中前々年の参加者と比較しても大幅に増えていると思います。まだ目標の 1000 人にはまだもう少しありますが、雨天であればある程度成功していると思いますが、その要因はどのように考えていますか？

事務局)今年は市制 20 周年の記念事業として、ティラノサウルスレースが同時に開催され、雨の中で中止というお話もあったんですけども、いろんな参加者さんがすでにおられたので、親水公園ではなく総合体育館の前で実施するっていうことで、そのまま流れてきていただいたお客様もおられましたし、あとは保健センターの健康まつりを一緒に開催させてもらって、今年はタニタさんや ABC クッキングさんやライザップさんなど健康政策課と協定を結ばれている企業さんの参画もあり、民間の力を使いながら集客ができたっていうのが、人数が増えた理由かと思っています。

会長)ありがとうございます。では他になれば次の議題に移りたいと思います。

事務局)それでは次の国スポ障スポ先催県視察報告書について説明させていただきます。資料の方はまず佐賀 2024 剣道競技について、2ページの視察概要ということで、剣道については、令和6年9月 27 日から 30 日という期間で、佐賀県神崎市で開催されたのですが、これが国スポ開催期間外であったため、お成りや行幸啓が行われない、そういった日程で開催されました。

会場としては神埼中央公園体育館で、湖南市の場合は総合体育館になります。練習場所は記載のとおり 4 つの会場を設けていまして、湖南市の練習会場の場合は、甲西高校、甲西中学校、甲西北中学校になっております。

3ページについて、競技会場の写真になります。

4ページは競技会場の概要になり、湖南市も同じように開催させてもらうのですが、湖南市と比べて違いがあるということになりますと、やはり仮設空調になります。空調が2階

に14台設置されていて、現在総合体育館には空調がないのですけれども、空調はどうするのかずっと議論をしておりました。湖南省の方でも仮設で設置しないと、やっぱり集中して観戦しただけないだろうというところで今は予算要求を行い、仮設設置に向けて進めております。

5 ページは控室になります。湖南省の場合は小アリーナを控え室に想定しています。

6 ページについて、同じくこちらも控室に仮設空調が設置されておりましたので、湖南省でも同じように仮設空調を考えていきたいと考えております。控室のこの区画というのが引かれているのですが、ここで各県の代表の方が、調整場や試合会場までの間に控える場所で、モニターが設置されておりここで試合観戦もできるようになっておりました。

7 ページは調整場の写真で、ここで試合の前に調整する場っていうのがあるんですけれども、湖南省の場合は調整場のスペースがありませんので、仮設で駐車場のスペースを使いまして建設する予定をしております。こちらについては剣道連盟さんの方からも空調はなくてもよいと聞いていますので、この部分は仮設の調整場を作るのみの予定です。

8 ページが審判監督会議という部屋で、栃木や鹿児島ではアリーナ内に設置されていましたが神崎市では別室に設置されておりました。湖南省では、アリーナの中にスペースを作って審判・監督会議を開いていただく予定です。竹刀検査場というものは竹刀をチェックするものでありますので、これは小アリーナの畳スペースを使って実施する予定です。

9 ページ、練習会場ということで、先ほど申し上げたように甲西高校、甲西中学校、甲西北中学校で同じように練習をしていただいて、ここに市の方から何人か待機しながら練習してもらい、一気に全部の都道府県が入ることはできないので、振り分けて順番に使っていただくというような形を考えています。

委員) 送り迎えはどうするのか？

事務局) 各都道府県の団体は車で来られて、その後ホテル等に移動される予定ですので市の方で配車予定はありません。

では10・11 ページに進みます。これが競技会場外のおもてなしということで、テント17張を用意されて、休憩所があって、机や大型モニターがあるので食事をしながら試合観戦ができるようになっていました。またふるまいということで、市の職員さんが1名で神埼そうめんという特産品を提供されていて、あとはドリンクコーナーということで、市の方とボランティアの方が2名入られて、紙コップでお茶やポカリスエットを無料提供されていて、湖南省もだいたい同じようなおもてなしを総合体育館の前で実施していこうという計画をしています。

12 ページは競技会場仮設トイレについて、仮設トイレは男性女性の手洗い、体育館の外に仮設トイレも設置されておりました。あとは競技体験コーナーということで、神崎市の方は剣道とハンドボールが開催されるのですが、ハンドボールの競技体験コーナーが一角に設けられていましたが、通って見ている限り使われているところは一度も見なかったです。あとは装飾

として、協賛企業の横断幕やのぼり旗がたくさんあり、それらの写真は 13 ページのとおりです。

14 ページは宿泊衛生と市内小学校関係としまして、お弁当等では業務委託であるということで、保冷車ではなく仮設冷蔵庫で保管され、市職員と競技会補助員ボランティアの方で対応されていました。湖南省も斡旋弁当と支給弁当が 1500 個程度計画して進める予定をしています。救護室については、湖南省も同様に総合体育館内に設置する予定です。あとは応援のぼり旗、この 15 ページの右下にある、滋賀頑張れというようなものを各県ごとに作ります。今、市内小中学校の方に依頼しておりまして、同じように各都道府県の応援を書いてもらうよう作成中でございます。次に学校観戦、神埼市の学校観戦は平日のみ実施されておりましたが、湖南省の場合は、月曜日、火曜日水曜日と全部平日になります。その分土日がないのでお客さんの数が一般の利用者さんというか会社員の方は参加しにくいかなと思うのですけれども、すべて平日なので市内の小学校、中学校のすべての学生に参加していただけるようバスを用意する計画をしています。ちなみに神埼市は、土日月の開催だったので月曜日だけ、一部の学校観戦が実施されたところであります。

16 ページ、輸送関係で、輸送センターというピストンバスと弁当の管理などをされるセンターということで、神埼市役所内に事務所を設置されて事務をされていたのですけれども、湖南省の場合は保健センターを一部お借りして、甲西駅から親水公園のバスの管理とお弁当の管理をしていただこうと考えています。バスの乗降所は総合体育館の前を想定しています。関係者駐車場は親水公園を考えていて、神埼体育館も隣のグラウンドを駐車場とさせていました。湖南省の場合も親水公園を使って、あと追加でちょっと足りなくなったら困るということで、夏見の旧JA跡地使って 100 台程度確保しています。あとは一般駐車場としてパークアンドライドということで、神埼市の場合は吉野ヶ里歴史公園という会場から少し離れた場所でパークアンドライドされたのですけれども、湖南省は甲西駅から親水公園を使う予定です。

18 ページ、駅・案内所・記念品・啓発品関係としまして、神埼市は駅から会場まで 5 分の立地にありました。この駅の階段に 19 ページのように国スポ・障スポ装飾がされていました。湖南省の場合は総合体育館まで距離があるのでバスを用意しますし、階段装飾についても湖南省バージョンをすでに施したところです。甲西駅に行く機会があれば、この装飾をぜひ見ていただきたいと思います。今後は駅のロータリーの中にありますライオンズクラブさんがお持ちの看板をお借りし、そこに啓発看板を設置し、もう少しPRしていきたいと思います。

次に案内所ということで、これも市の案内、観光案内形になるのですけれども、神埼市と同じように甲西駅の改札前で、観光案内所を設置してPRを進めていきます。3 番、記念品ということで 20 ページ、いろいろご用意いただいとおられ、湖南省も同じように啓発袋や湖南省の特産品である下田焼きを使って PR してはどうかなど色々考えて進めております。

では次 25 ページの障スポ視察研修報告について説明させていただきました。障スポバレーは知的障がい者バレーということで、26 ページ見ていただいたら、ゲート式金属探知機があるのですけれども、今回障スポバレーに佳子様が来られましたので、もう通常のお成り対

応ではなくて、ワンランク上の対応というような警備になっておりました。関係者入口では、ゲート式の金属探知機が設置されて、あと手荷物検査も実施されました。一般入口の方では金属探知機 2 台を設置して、同じように手荷物検査をして 27 ページに書いてあるように、ゲート前で写真のように荷物を前提とし、金属探知機を通過して、ここに異常があればハンディ金属探知機で再チェックし、異常がなければリストバンドを付けて、今後それがあれば入るといふ形になります。

28 ページの缶やびんは投げられたら危険ということでこういったものは持ち込めないようになっていて、中身を紙コップに移すと持ち込めるようになっておりました。鹿児島の場合は完全没収であったと聞いています。この障スポ入口の警備については今後滋賀県さんで考えていただくことになると思います。

29 ページ、皇族を迎えるにあたって、警察の方が私服の状態で、警備をされていました。整列や手荷物検査をされていました。荷物は足元において並んで、皇族の方が見えなくなるまでは動かないでくださいという形で指示がされていました。30 ページの写真がその様子です。

31 ページがロイヤルボックスということで、総合体育館の方でも同じようにお成り等が開催されるようであればこういった形でロイヤルボックスを作る予定をしております。ロイヤルボックス側の座席はすべて入場禁止になっていましたので、湖南市の総合体育館でいうと、保健センター側の真ん中にロイヤルボックスを設置する予定をしておりますので、お成り中は入って左側は全部使えなくなりますが、帰られた後は開放という形になり、一時的に使えなくなる時間帯があるような状況です。

佳子様の写真は別添のとおりですけれども、小さくて、本当に遠くて見えなくて、接近することができなかったです。

32 ページはバレーボールの試合風景で、障スポ自体は県が主体で実施され、班長には県職員さんで係員に市職員がつくということで、33 ページの写真は市の職員さんが受付をしているものになります。そのほか福祉席や音声表示など設置されていました。

最後になります。カームダウンスペースということでパニックを防ぐために、外部と遮断し、落ち着かせるスペースを設けてあり、総合体育館の場合は階段下のロビーにパーテーションを設置してスペースを設ける予定です。報告は以上になります。

会長)ご説明ありがとうございました。委員の方から質問があればどうぞよろしくお願いします。

委員)現在皇族は誰が来るか決まっていますか？

事務局)まったく決まっていません。行幸啓の場合、年明けにはある程度情報が出てくるかなと思いますが、お成りとなると開催3か月前ぐらいまでわからないと聞いています。

委員)それとロイヤルボックスについて保健センター側でやらんでも、階段上がった正面でやってくれたらいい。一番長い観覧席が駄目になるし、背中から試合を見ることになるから、横から見てもらった方がいい。皇族には横から見てもらった方がいい。

事務局)ロイヤルボックスの場所については滋賀県警さんが警備等考慮されて決められています。湖南市が決めたわけではありません。

委員)背中側がガラスで危ない、県警の責任者は誰だ？

事務局)一度確認させてもらいます。剣道の場合は三笠宮洋子様がいつも来られますが、今回はおばあさんが亡くなられました。90 幾つで亡くなられましたので、今回は来られなかったと聞いています。来年、令和7年度は多分来られるのじゃないかなと思っており、学習院大学で剣道をされていたと聞いておりますので、剣道には大体毎年来られています。

委員)あと通路のことで、選手は素足で一般客は土足で入っている計画が最初に出ていたが、それはどうなったか？

事務局)佐賀は一般のお客人はナイロン袋で全部物は自分の靴でもって入っておられましたので、そのあたりもしっかり考えていきたいと思います。

委員)ビニール袋も 10 枚、20 枚とすぐ使っては捨てるという人がいると聞いているので、大事に使うようしてもらいたい。

会長)ほかにいかがでしょう。

委員)剣道と障スポの大会の期間中の天候はどうだったのですか？雨の場合の対応というのも考えないといけないと思うのですけれども、それはどうだったんですか？

事務局)剣道の方はすごく天気が良かったです。障スポバレーの方は雨が少し降るような曇りでしたが、ご指摘いただいた雨の対応ということで、今はそこまで入口に傘を置けるようなスペースもないので、雨が降った場合どうするのかというのは、視察でも見なかったので考えていきたいと思っています。貴重なご意見ありがとうございます。

会長)ほかに意見ございますか？

委員)心配しているのは食中毒対策について、その辺がすごく気になる。結局選手がいつ受け取るかということもあるので、例えばお弁当に 1 時間以内に食べてくださいというような表記など、アナログなのですけれども徹底する必要があるんじゃないかな。暑い日が続くと大変心配でありますし、選手だけでなくコーチなども含めてお渡しするときに説明がいたと思います。

会長)ちなみにボランティアはどんな具合ですか？

事務局)ボランティアは県を通しての申し込み、市を通しての申し込みを合わせて約 40 名ほどお申込みをいただいている状況です。また今後増えていく可能性もあるんですけども、ドリンクコーナーやおもてなしのところがメインになってきますが、最終は 80 名程度を集められるよう募集していきたいと思います。

会長)大学の学生にも声を掛けますので、なにか資料などあればご提供ください。ほかにご意見ございますか？

委員)各イベントの日程を教えてください。

事務局)国スポ剣道は 9 月の 29、30、10 月 1 日の月曜、火曜、水曜の 3 日間、障スポバレーは 10 月の 25、26 日の土日で行われます。キンボールスポーツ・レクリエーションは 5 月 11 日、ウォーキングフットボールが 6 月 1 日になります。剣道、障スポバレー、キンボールの会場は総合体育館、そしてウォーキングフットボールの方は会長が甲賀高分子スタジアムになります。

総合体育館の会場は窓ガラス等を使って会場 PR を実施していますが、甲賀高分子スタジアムはまだ出来ていないため今後していく予定です。障スポバレーリハーサル大会は 5 月 25 日です。

委員)佐賀の競技会場で空調 14 台が設置されたということなんですけど、湖南市の総合体育館も空調設備がないので、国スポ障スポ期間だけでなくもう少しお金を使った方がいいと思うのです。近隣で空調がない大きな体育館は湖南市ぐらいかと思います。栗東の方でも整備されましたし、なんとかしてもらえないかなと。

事務局)ご意見ありがとうございます。今年は特に暑く、剣道のリハーサル大会が 7 月末に開催されましたが、うだるような暑さで仮設空調が必要だとみんなが考えるようになったのは事実です。ただ、それまでは今すぐ設置しなければならないという気運はなかったと理解しており、急遽設置するにしても、本大会までに施工が間に合わないので仮設で設置していけるよう予算要求を進めているところです。

ただ仮設ではなく今後は空調を設置するとなると、どうしても施設の利用料金が上がってしまいますので、利用推移や収益的な所、指定管理制度などとの関係も考えながら空調設備の設置を考えていけたらと考えているところです。今回、国スポというところでは皆さんの意見を聞きながら仮設で対応させてもらえればと考えておりますが、まだ決まったわけではありません。

委員)輸送関係でお聞きしたいのが、バスが総合体育館で乗降するとのことで、親水公園前は非常に道が狭く、そこに大型バスが止まっていると混雑するので通行規制などしないと近隣住民に迷惑ですし、近くの方々の通勤ルートでもあるので交通渋滞が発生すると思います。その辺の許可といいますか、地域の方に迷惑がかからないような輸送計画を考えないといけないと思います。国スポも重要ではあるんですが、市民の生活もちゃんと考慮して、後からよかったって言ってもらいたいです。そういうことで、評判が悪くなる。その辺のところをしっかりとった方がいいと思います。

またPRになるんですけど、キンボールスポーツで今度 3 月に第 3 回のデモ大会を行います。ただ今までやってきた中でいきますと、スポーツ推進員委員長をやらしていただいているんですけど、私のやり方がいいかわかんないですけど、正直言うと、国スポ障スポに関して湖南市民は基本的に盛り上がっていないと思っています。キンボールレクリエーションに皆さん参加してくださいと小学校といろいろ話したりするんですけども、100 名ぐらいを募集しても、50 人集まるかどうかで、それぐらい盛り上がりがない状況で、やる競技が決まっていますけれども、もう少し市民の方に見たいと思っていただけるようなPR活動っていうのも、やっていかないと駄目だなと思います。また本日は様々なスポーツ団体の方が集まっておられるので、また力を貸していただければ大変助かりますのでどうぞよろしくお願いします。

事務局)貴重なご意見ありがとうございます。道路関係について警察とも協議しながら、一方通行にするとか、企業さんのトラックや会社の車もありますので、周辺の企業さんにも協力を求めてしっかりとした通知をさせていただいた中で、安全にやっていかなきゃいけないというのがありますので、考えていきたいと思います。

先ほど空調の話がありましたけどまた今後も考えさせていただくということでとりあえず仮設の方で対応させていただこうと考えており、県の補助金を少しいただけるという形を聞いておりますので、その後についてはちょっとまた色々検討させていただきたいなと思います。

委員)スポーツ観戦は同じ競技の場合、やっぱり退屈になってきます。大体 9 時半ぐらいから始まって、3時ぐらいまで同じ競技なので退屈なんですよ。だからこれをいかにして盛り上がりというところに直結するかと思うんですけども、やはりショーアップがすごく大事で、せっかく湖南市であるんですから、キンボールに関しても、競技がずっと続いているっていうのであれば湖南市内の子どもたちを、例えばチアガールのダンスを試合の合間に、チアガールダ

ンスで結構かわいいもんですからレイクスターズさんもやっているんですけども、そういうのを考えましょう抜本的に。そうすると、親御さんたちも見に来るし、剣道であれば竹刀で打ち合っている時間が長いので、選手の紹介のときにマイクで1人ずつ紹介するとか、そういうところの考えがあってもいいのではと思います。準決勝、決勝戦ぐらいはマイクを使った紹介のようなショーアップっていうものを少し考えてもいいのかなと思います。

会長)ありがとうございます。それぞれの立場からいい意見がありましたので参考にさせていただければと思います。我々も大学で最近、夏の運動に関しては、危機感を持って活動しておりますので、午前中は制限するなどそういう時代になってきましたので、体育館でも今後の利用を考えてもらえたらと思います。

では続きまして次の議題、地域部活動の地域移行について学校教育課よりご説明いただきます。

学校教育課)資料5について説明

会長)ありがとうございました。何か今の説明でご質問ございますでしょうか？

委員)指導者の人材バンクとか、資格取得っていうのは、どういう指導者としての資格を表すのか、国家資格なのか、それとも湖南市がつくる資格なのか。またどうしても地域展開となると受益者負担になるということもあり、やっぱりそれは家庭の事情によって負担が苦しいというようなこともあると思うんですよね。そういう方は、どのようにこれから考えていこうとされているのか教えてください。

学校教育課)ありがとうございます。指導者に関しましては、今考えておりますのは地域の方もそうですし、地域展開協議会や立命館大学生、また先ほどあった保護者であったり、兼業を認めた教職員、また県の方がつくっている人材バンクにあった方がいたらお願いしたいと考えています。また資格取得について、中体連の大会にクラブチームが参加できるようになったんですけども、クラブチームが参加するため資格取得が決められているので、必要な資格取得について考えています。

受益者負担に関しましては、当然必要になってくると思います。指導者の謝礼や報酬っていうのは、一定設けていかないと持続可能な団体にはなかなか成り得ないと思いますので、受益者負担は必要であります、家庭によっては必要な支援があれば検討していきたいと考えています。

会長)ちなみに今教育委員会が連携している地域クラブのバレーボールとソフトテニスの練習場所はどこなんでしょうか。

学校教育課)バレーボールのKVCさんは、指導者が甲西高校の職員ですので甲西高校であったり、市の総合体育館を使っています。ソフトテニスの LBL さんはサンビレッジのテニスコートや連携している甲西高校を使っていて、基本的に学校施設のテニスコートは開放していませんが地域展開ということで連携して甲西中学校のテニスコートを使ってもらっています。

会長)ほかいかがでしょうか。

委員)地域移行についていろいろ推進されていると思うんですけども、中学校の部活動ということで学校の生徒が、みんなで練習をして、大会に参加して目標を達成していくという教育的な部分が子供達には必要であり重要だと思っていますが、地域やクラブチームに行くことで、それはそれで違う方チームワークとか別の学びがあるとは思いますが、そういったところの難しさというものを感じます。

また中体連の大会とか、今後なくなっていくのでしょうか。例えばバスケットボールでしたら、日本バスケット協会の中で大会を開催していて、そこに登録している学校もあれば中体連だけというところもあり、そのあたりが今後どうなるのか。

また地域が分かれた場合、対抗試合ってすごい子供たちにとって魅力的なもので、その練習の成果を試すという意味ではすごく良いことだと思うんですけども、そういったところの中体連としての大会に代わる大会など今後の予定はあるのかどうか気になります。あとはスポーツ少年団で受け入れるというのも団によっては可能なかなと思っています。

学校教育課)ありがとうございます。部活動の教育的意義というのは大きかったと思います。それが地域のクラブだから、それがなくなるってということには捉えていません。おっしゃったようにその地域クラブの中で学べることがたくさんあるかなと思います。また中体連の大会につきましても、6 年後に種目が減るとか報道されておりましたが、今後どうなるのかは難しいところです。ただ、中体連大会にこだわる必要は全くないのかなと思っています。例えば、KVCさんの中学生のバレークラブチームですけども、中体連大会には参加しておりません。先ほどおっしゃったように、種目によってはそれぞれの協会によって大会がありますので、KVCさんはそちらの方で出られています。ただ LBL さんは滋賀県の中学生ソフトテニスでは初めてのクラブになりますので、中体連の大会に出ないと大会がないので、何としても大会に出るために、資格が必要だというふうになっています。今後、スポーツによってはそれぞれの協会であったり、その他の動きが大きく関わってくるのかなと考えています。

またスポーツ少年団で受け入れられるというのは大変心強いので、またお話ができたかと考えています。

委員)総合型地域スポーツクラブでも、このことが課題となって進んでおります。湖南省でも地域移行をさせてもらっていますが、構成員は高齢者ばかりです。それを中学生を迎えて進めていくのは、まず基本的にやり変えていかなあかんで、国県が言うてきている。総合型地域スポーツクラブへ中学校の部活動を引き受けてくださいと、ただいうのは簡単だが構成人員を知っているのかと言っておりますが、それが今後の課題になってきます。

それと、これも学校教育課と話していたかもしれないが、この話は教育委員会で、この会議は文化スポーツ課です。そこをうまく調整してくださいよ、立命館大学から2人も先生が来て、教育は長積先生、スポーツは藤田先生でこれだけの何十年やってくれてはると、そこら辺をうまく、市長がそこをコントロールしてもらわないと、教育委員会はこういう方針、スポーツ課はこういう方針とか。あと中学校について、先日の青少年育成会議で湖南省には中学校がいくつあるか質問があったけど、県からも中学校があるんですよ。三雲養護学校です。それも中学校の中に入れなあかんですよ。その生徒たちは誰が面倒見るのか。湖南省にある三雲養護学校の中学校、近江学園、これら付け加えたらあきまへんと言っている。湖南省には養護学校があるんやから、やっぱりそこら辺もやっていかんとあかんちゃいますかと教育委員会さんには言えますし、でもスポーツ課さんがどういうふうにとらえるかもしれませんけどね。やっぱり養護学校は市内の中学校に入れなあかんですよ。立命館大学を通して先生に来てもらうのはいいし、2人のご意見もらった方がいいが、実際にそのコントロールを教育委員会が持つのか、スポーツ課が持つのか。でも、教育委員会の部長がいるし、スポーツにもいるし、そこら辺が行政の難しいことだとは思いますが、そこら辺は市長、しっかりとコントロールし合ってすばらしい湖南省にしてください。

市長)やっぱり核になるのは中学生ですので、行政のどっちが動くとかそういうことではなく、中学生に対して、それこそありがたいことに、もう今度2つの地域クラブが声を上げてくれてはるんですよ。もう1つまた剣道も声を上げてくれていて、そしていまスポーツ少年団でも声を上げていただいて。こういうふう to 声を上げてくださるところが湖南省にはある、それこそトップダウンで進めるんじゃないで、沸き上がってくるというのが非常にありがたいなと思っています。ありがとうございます。

委員)地域展開するのは大変良いことだと思うんですけども、現実的にスポーツ推進委員の立場で言いますと、月1回のスポーツデーという年齢層関係なく来ていただけるような月1回イベントをやっているんですけども、そういう時にいろんなご意見を聞かせていただいていると、運動できる子は、どんなことをしていても、どの分野でも評価されていて、積極的に色々なことに参加されるんですよ。でもやっぱり運動が苦手な子どもさんっていう、今の現状で言いますと、こういう多様性の時代なので基本的に結構な子どもが運動をほとんどしていない。で、運動のできない子が、やれるような場が少ない。

何が言いたいかといいますと、私どもはニュースポーツといいまして、そういうバレーボールとかバスケットボールじゃなくて、モルックとかボッチャのように、お年寄りでも障がいのある方でも、運動が苦手な子どもさんでも来ていただいて、場所を提供してやっていくと、大体100名近く来ていただいて、その姿を見てもすごく楽しまれています。だから勝つための競技をするのも大事なことですけれども、やっぱりスポーツが苦手、外に出るのが苦手な方の受け皿っていうのを作るっていうことも大事だと思います。

だから今後、部活動を地域展開するっていうことばっかりに捕らわれず、やっぱり中学生だろうが小学生だろうが運動が苦手な外に出るのが苦手という子も含めて受け皿を作っていくような考え方、そういうのを付け加えてやっていけば、もう少し活動の幅が広がっていくんじゃないかなと思います。

学校教育課)ありがとうございます。様々ニュースポーツに取り組めるクラブチームも、1つの選択肢として、考えていきたいと思っています。

委員)湖南省はコンパクトですし、人口も5万人弱ですけどやっぱり子供が減っていくのはしょうがないことです。それを悲観的にとらえるのではなく、石部、甲西、甲西北、日枝とこの4校でクラブチームを作らないといけないという方向性に関しては賛成です。これももうちょっと増えていったら嬉しいんですけども、それは委員さんがおっしゃったように、やっぱり溢れる方が必ずいるし、その子たちの受け皿というところで、従来の広く認知されているサッカーとか野球とかではなくて、もうちょっとライトな、例えば十二坊に登ろうとか阿星山に登ろうとかそういう人数が少なくてもいい、少しずつ展開していってくればすごくその子ども達が喜んでんじゃないかな。激しいスポーツというイメージのものじゃなくて、もっとライトに、創意工夫で楽しくできるので、ぜひ受け皿を作ってもらえると嬉しいです。

委員)たまたま孫の駅伝地区大会で見学していた時に湖南省の日枝中学校の生徒がいて、陸上部がないっていう話をしていて、でもすごく楽しそうに応援されていて、私の方も陸上をしていて、昔は陸上部があったんだよって教えてあげるとびっくりされて、でもすごく楽しそうに応援されていて、陸上部があったらいいのにねって言ったら大きな声で返事していたので先生にお願いしなさいと冗談で話していたんですけど、どんな部活に入っても中学生生活は本当に大切に、楽しく過ごしてほしいなと思っています。

会長)たくさんご意見いただいたなか、少子化の流れもありますし、教職員の働き方改革もありますし、おそらく委員の皆様がおっしゃったように地域の特徴がありますので、そこを踏まえて、できることを市と連携しながらやっていく必要があると思います。そういう意味では長積先生の話も出ましたが、我々もどういったことができるか一緒に議論していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

それでは議事は以上になりますので、事務局にお返しします。

事務局)ありがとうございます。最後にその他として、例えば空調のお話もありましたように、湖南省に取り入れたい他市の社会体育施設で見学した方がいい施設や団体などがあれば見学や視察をしてはどうかと考えています。来年ですが令和 7 年度 12 月に第1回義の審議会をする際、こういった会議でもいいですし視察でもいいかなと考えていますので、また秋とか夏頃に意向調査っていうのをさせていただきたいと思っておりますよろしくお願いします。

事務局)皆様、よろしいでしょうか。それでは最後になりますが、委員副会長より閉会のご挨拶をよろしくお願いします。

委員)慎重な審議ありがとうございました。国スポ障スポも開催までもう残り 10 ヶ月になるかと思います。本日皆様からいただいた課題は、国スポ障スポの各分科会がありますので、こういう意見をまたそちらの方に反映させていただいて、より良い大会になって、お客様がたくさん見えるように、何とか我々も頑張っていきたいというふうに思っております。

それから部活動の地域展開とありますけども、それは数年前からちょっと話はあったようなんですけども、あまり関心がなかったですけども、これから地域に展開していくことが大事だと思うんですけども、やはり住民の方や指導者の方が、なかなか難しいと思うんです。簡単に指導するっていうのはできると思うんですけどやはり専門的となると、やっぱり保護者の方の目もやっぱりきつくなると思いますんで、そういうことも展開が必要じゃないかと思っております。

それからもう 1 つは場所取りです、例えば総合体育館とかは、今は三幸スポーツさんとスポーツ協会と市で調整しています。年間計画を作りますので、その中に地域展開した部活が使用するのであれば、年間計画の中に入れとかないといけないので、そこも少し考えないといけないと思います。本日はどうもありがとうございます。

事務局)それでは以上で本日の会議を終了いたします。長時間ありがとうございました。